

北海道ニセコ高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和2年度に重点化した取組の実現状況・課題			
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育で人材を育てる学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	(1)農業クラブ3大事業への積極的な取組を促す。 (2)個に応じたキャリア教育の充実を図る。 (3)資格取得の充実	(1)各行事に向け学習会の充実を図った。 (2)2年生・3年生ともにインターンシップは自粛。コースの特性を活かした教育活動を実践した。 (3)農業技術検定3級、食品衛生責任者資格取得に取り組んだ。	・取り組みの継続	4
	II 地域社会・産業に寄与する学校	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	(1)ニセコ町が取り組むSDGs 未来都市としての活動を学ぶ。 (2)マレーシアへの見学旅行 (3)YTLホテルズスクールズとの交流事業	(1)各教科の取組みのなかでSDGsについて学ぶことができた。 (2)マレーシアへの見学実習は自粛。 (3)YTLホテルズスクールズとの交流会は自粛。	・取り組みの継続
III 地球環境を守り創造する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	(1)地場産業を支える取組み (2)地域に定着させる新しい農産物の開拓	(1)地域の教育力を活かした教育活動を実践した。 (2)地域に提供する京野菜、エディブルフラワーの栽培研究を実施した。	・取り組みの継続	4
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	(1)有機栽培ワインブドウ農家での視察実習と農業実習 (2)地元6次産業との連携	(1)年2～4回の実習と視察を行いニセコにおける有機果樹栽培を学んだ。 (2)観光客のニーズに応える農産物を提供した。	・取り組みの継続	5
	IV 地域交流の拠点となる学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	(1)小樽開発局と連携した「環境に配慮した農地開発」の学習により、持続可能で創造的な農業を学ぶ。 (2)エネルギー教育の充実	(1)視察をおし環境に配慮した農地開発を学んだ。 (2)SDGs 学習をおしエネルギー教育を実施できた。	・取り組みの継続
V 地域防災を推進する学校	⑥「食農」教育を推進します。	(1)ニセコ町教育委員会・CS委員会と連携した食育交流・菜園交流 (2)国際交流員との食文化交流	(1)年3回のリモートでの交流活動ができた。 (2)食文化交流は自粛。	・取り組みの継続	3
	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	(1)町花を活用したPJ活動の実施で地域との繋がりを深める。 (2)有島武郎と地域の農業の歴史について、さらに地域に根付く「相互扶助」の精神について学ぶ。	(1)町花ラベンダーを活用し充実したPJ活動が実践できた。 (2)「相互扶助」の精神を学べた。	・取り組みの継続	5
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	(1)⑥「食農」教育を中心に地域交流の場をつくる。	(1)⑥「食農」教育を中心に交流会を実施できた。	・取り組みの継続	3
	⑨「機関・団体と連携した」教育を行います。	(1)町役場、小樽開発局、農業改良普及センター、ニセコミルク工房、地域農家、酪農学園大学、札幌国際大学、八紘学園などと連携した授業の実施	(1)エネルギー教育、農地開発と地域環境、地域農家視察、専門学校視察等特別授業を実施できた。	・取り組みの継続	3
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	(1)実習に関わる安全教育の徹底 (2)実習中の災害への備え	(1)実習服・帽子・長靴・軍手などの着用を徹底した。 (2)危機管理マニュアルの見直しを行った。	・農場実習中の地震、原発事故への備えを徹底する。	5